

令和2年度自己評価・年間反省

昨年度後半からの新型コロナウイルス感染症が未だ収束せず、令和2年度はほぼすべての行事が縮小、中止となってしまいました。本来、行事を通して経験できたことや、その経験によって培われるはずだった力や気持ちを、どのような保育をすれば育んでいけるのかを悩み、試行錯誤した一年でした。

今年度、7月から園舎の建て替え工事が始まり園庭が使えなくなったため、どのクラスも積極的に散歩に出かけて、戸外での活動を思い切り楽しめるような遊びを考えて実行してきました。屋内でも、園全体で取り組んでいる体育指導を基に、一人ひとりの経験や発達を見据えて、それぞれの子どもに合わせた活動を考えてきました。限られた環境の中でも、子どもたちが心から楽しいと思う保育、成長を促すことが出来る保育を続けていくことが出来たと思います。

感染症対策で職員が外部の研修に参加することはほぼ出来なかったのですが、園内研修では危機管理や虐待などについての複数の研修を行いました。全職員が、保育内容や感染症対策において同じ意識を持って取り組み、意見を積極的に出し合って改善していくように努めています。

2月には待望の新園舎での生活が始まり、新しい生活様式と併せて、新しい園舎での生活の仕方を考えながら進めています。園舎が広くなったことで、屋内でも思い切り身体を動かして遊ぶことが出来るようになり、子どもたちもとても喜んでいきます。園舎の特性を生かして、今まで出来なかった活動にも取り組んでいきたいと考えています。設備的にも換気や保湿、除菌抗菌に配慮した作りになっているので、その設備を有効に活用していきたいです。